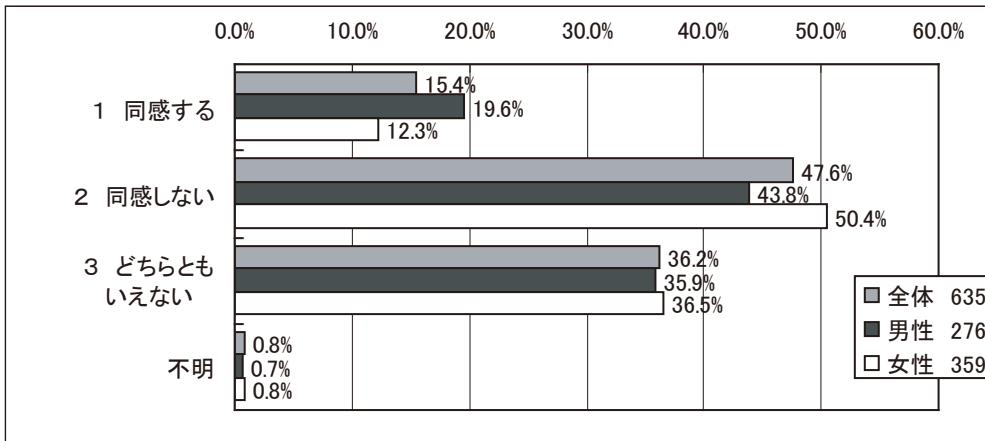


## 2 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しますか。



## 3 夫婦間や恋人間で起こる暴力（ドメスティック・バイオレンス：DV）について

配偶者や恋人から平手で打たれたことが「ある」と答えた人の割合

- 1 何度もある（全体2.0% 男性0.6% 女性3.3%）
- 2 1、2度ある（全体11.0% 男性10.0% 女性13.4%）

配偶者や恋人からげんこつで殴られたり足で蹴られたことが「ある」と答えた人の割合

- 1 何度もある（全体1.1% 男性0.6% 女性1.8%）
- 2 1、2度ある（全体8.0% 男性6.1% 女性10.5%）

## 4 男女共同参画を推進していくに当たって、市が今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答 上位5項目)

- ・保育所、学童保育などの保育サービスの充実（全体34.8%）
- ・女性の再就職や起業を支援する施策の充実（全体32.0%）
- ・雇用の場における男女平等の促進（全体24.1%）
- ・女性の社会活動、情報提供や交流の場となる拠点施設の充実（全体20.3%）
- ・学校教育において、男女平等について考えるための学習機会を増やす（全体15.9%）

### ◇自由意見

- ・男女共同参画とは、女性をたくさんリーダーにさせることではなく、適材適所、誰がリーダーとなっても弱い立場の人が救われるようなことを考えられる人を多く作り出すことだと思います。男性の特質、男性にしかできないこと、女性の特質、女性にしかできないことを生かせるのが平等かと思います。一人ひとりが意識を高めなければなりません。一人ひとりが思いやりのある心がないと、成立しないと思います。(40代 男性)
- ・人として差別は絶対あってはならない事ですが、それは別に男女特有の別から見れば、区別する部分は出てくると思われます。例えば出産、子育てなどはその例ではないでしょうか。母の役、父の役または両親の役、理屈では無い部分も多いと思います。人として、子として、母として、父として、自然に出るものを大切に願っております。人として良心に沿った生き方をし、まず自身が人権を尊重することこそ肝要。それが他とも尊重する大事につながるものだと思っております。(50代 女性)

#### ◆問い合わせ先

伊奈庁舎秘書広聴課  
☎58-2111 (内線1203)

